

## 学校の沿革

- 昭和 11. 2 神奈川県立横浜第二高等女子学校認可、横浜市中区立野 64 番地、神奈川県女子師範学校に併設される。
- 昭和 11. 4 開校・入学者 100 名、2 学級。
- 昭和 11. 5 開校記念日を 5 月 5 日に挙げ、この日を開校記念日とする。
- 昭和 13. 2 木造 2 階建て 6 教室 (157.5 坪) 増築完工。
- 昭和 17. 2 木造 2 階建て 2 教室増築完工。
- 昭和 18. 4 学制改革により、神奈川県師範学校は専門学校に昇格。文部省直轄の神奈川師範学校となり、女子師範は女子部と改称、神奈川県立横浜第二高等女学校は分離。
- 昭和 23. 4 学制改革により高等学校となり、神奈川県立横浜第二女子高等学校と改称する。
- 昭和 23. 5 PTA 設立。
- 昭和 25. 4 校名を神奈川県立横浜立野高等学校と改称し、男女共学となる。また、学区制が定められ、平楽、港、吉田の中学校のほとんどが本校の通学区域となる。
- 昭和 27. 3 木造校舎増築完工 (2 階建て 260.5 坪)
- 昭和 29. 4 木造モルタル校舎増改築完工 (2 階建て 313.7 坪)、運動用地 (1,565 坪) 買収する。
- 昭和 31. 2 校則の制定。
- 昭和 33. 4 第二校舎の増築完工 (木造 2 階建て 2 棟 268 坪)。
- 昭和 34. 1 第二校舎への連絡地下道渡り廊下建設。
- 昭和 37. 11 公立校等学校通学区域規則が改正。本校の通学区域は横浜市南部学区と決定する。
- 昭和 39. 1 旧本牧間門校舎第 1 期工事完工 (A・B 棟) (鉄筋コンクリート 4 階建て)、移転。
- 昭和 40. 3 第 2 期工事完工 (C 棟) (鉄筋コンクリート 4 階建て)。
- 昭和 41. 1 体育館講堂完工。本校に山手分校を設置。
- 昭和 41. 5 生徒更衣室完工 (77.00 m<sup>2</sup>)。
- 昭和 41. 9 プール完工 (14m×25m)。
- 昭和 41. 11 創立 30 周年記念式典を挙げる。
- 昭和 42. 9 合唱コンクール始まる。
- 昭和 43. 4 体育格技場完工 (300 m<sup>2</sup>)。
- 昭和 44. 5 食堂完工 (294.36 m<sup>2</sup>)。
- 昭和 45. 1 開校記念日を 1 月 27 日に改正。
- 昭和 45. 9 校庭にスプリンクラー設置。校庭照明設置 (4 基)。8.5K。
- 昭和 48. 4 クラブ部室、プール南側に完成。
- 昭和 52. 3 増築完工 (D 棟) (563.5 m<sup>2</sup>) (視聴覚教室 1、普通教室 3、鉄筋コンクリート 2 階建て)。
- 昭和 52. 10 創立 40 周年記念式典を挙げる。
- 昭和 55. 12 本校の通学区域は横浜臨海地区となる。
- 昭和 61. 10 創立 50 周年記念式典を挙げる。
- 平成 2. 3 旧本牧間門校舎 (A・B 棟) 補修工事完了。
- 平成 3. 3 旧本牧間門校舎 (C 棟) 補修工事完了。
- 平成 5. 12 正門の移設工事完了。
- 平成 6. 9 住居表示変更により本校所在地は中区本牧間門 40 番 1 号となる。

- 平成 8. 11 創立 60 周年記念式典を挙げる。
- 平成 15. 12 公立高等学校通学区域（学区）規制が撤廃される。（横浜市立、川崎市立を除く）
- 平成 18. 6 創立 70 周年記念式典を挙げる。
- 平成 23. 4 校舎改築に伴い、港南区港南台 9 丁目 18 番 1 号に移転。
- 平成 28. 4 新校舎完工に伴い、中区本牧間門 40 番 1 号に移転。
- 平成 28. 11 創立 80 周年記念式典を挙げる。